

自己評価 R7年度

1. 園の教育目標

本園が最も大切にしているのは、キリスト教の精神に基づいた心の教育、即ち 真 善 美 を尊び愛するということです。幼児期が生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であることを認識の上に、子どもの心に内面的な温かさ、正しさ、美しさを植えつける教育に力をつくしたいと考えています。

幼児が現代の社会生活に適応し、幸せに生きる能力の基礎を身につけるに留まらず、将来隣人と共に生きる国際社会の形式に寄与する人間としての姿勢をも身につけ、環境を通して教育することに努めます。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	内容	内容
園内研修	・ 以前作成した保育用のマニュアルを確認し、保育現場で生かす ・ 可能な限り、園内公開保育を実施する	・ 作業は途中で終わってしまい、来年度の課題とします。 ・ 今年度も人手不足のため実施できませんでした。
小学校と連携	・ 賢明学院と連携を継続	・ 賢明学院と連携を継続、今年度は、賢明学院の先生にフラッグフットボールの体験授業をしていただき、子どもたちはとても楽しんでいました。
宗教教育	・ 月に一回の「神様の話」について教職員の共通理解を深める	・ 一学期だけできました。来年度、一年間分の予定を組んで3学期とも共通の理解を深めることに再チャレンジするつもりです。
食育	・ コロナ過中に取らざるを得なかった対策を見直し、一緒に食事を取る楽しさを体験する ・ 食事のマナーを身に付ける	・ 他学年での交流を深め一緒に食事を楽しみました。 ・ それぞれのクラスで担任先生がお箸の持ち方などについてその都度言葉がけをし、食事のマナーを身に付けるように指導しました。 ・ 今年度も自分たちで栽培した野菜を収穫して、食べることで食への興味・関心や好き嫌いの改善を促すことができました。
音楽指導	・ 楽器による音楽発表を再検討する ・ 小学校の動向を踏まえて個人のピアノの所有を再検討する	・ 年少から楽器に触れ、楽器演奏を楽しむことができました。 ・ お遊戯会では様々な楽器を使い年長・年中・年少で、合奏を行うことができました。 ・ 年中で個人のピアノを購入し、クリスマス会・お遊戯会でピアノ奏を披露しました。
設備	・ 最新の基準を満たしていない可能性がある遊具を撤去し、入れ替えを検討する	・ ロケット滑り台を撤去し、最新の基準に合った新しい遊具を購入しました。 ・ 年少のクラスの裏庭で、避難用の目的もあり、裏のグラウンドに繋がる新しい滑り台を設置しました。

	・年少・いちごぐみの裏にある人工芝を敷きなおす	・滑り台の設置を優先し、人工芝の敷きなおしを来年度に回しました。
安全	・通園バスに搭乗中の危機管理を徹底する	・利用者の人数が年々少なくなることを受け止めて、通園バスを新しくしました。バスのサイズが小さくなったことで、先生の目が行き届くようになりました。 ・通園バスでの乗せ忘れ等を防ぐため、バス表の記入の仕方を改めました。 ・プール遊び、組み立て体操時に暑さ対策で日除けネットをつけました。 ・年長は、園外保育で電車を利用し、公共のマナーを学びました。
体力づくり	・天候に左右されず、毎日体力づくりを促す ・学年別、目的や方法を工夫する	・年長はできる限り時間を見つけて、園庭で体を動かし思い切り遊びました。 ・年長児は体力向上を目的として前期後期で運動能力テストを行いました。その結果、体力向上がみられました。 ・年中児は練習の意欲を高めるため、「縄跳び 20回カード」を作り、半数程度の園児は成功しました。 ・年少はトラックの上を走ることを意識し 4 周走ることができるようになりました。

3. 園関係者の評価

ピアノ導入・野菜の食育体験・安全な遊具になるなど、新しい事をたくさん導入してもらって良かったです。

R7 年度母の会